

第3年度に向けて定期総会を開催



定期総会で議案説明を聞く代議員のみなさん

一之宮まち協だより

総会特集号

平成28年5月15日

一之宮町

まちづくり協議会

広報部

高山市一之宮町3087

電話 53-2424

一之宮町まちづくり協議会の定期総会が4月20日に一之宮公民館ホールで開催されました。

定期総会には議決権を有する住民の代表者である代議員37人中28人が出席したほか、理事や新役員など40人ほども出席しました。

総会では議長に野上の田中文夫さんを選任して、議案を審議しました。

定期総会で上程された議案は、「平成27年度一之宮町まちづくり協議会事業報告及び収支決算の承認について」と、「一之宮町まちづくり協議会規約の改正について」、それに「平成28年度一之宮町まちづくり協議会事業計画及び収支予算の承認について」の3議案で、原案通り議決されました。

なお、総会前の4月13日には理事会が開かれ、総会提案事項について事前審議が行ない、それを受けて定期総会が開催されました。

今回の「まち協だより」では、総会特集号として会員である一之宮町の住民のみなさんにその主な内容について報告します。

平成27年度まち協の事業報告について

平成27年度に創立2年目を迎えた一之宮町まちづくり協議会は、「協働のまちづくり」というチャンスを生かした第2ステップとして、「自分たちのまちは、自分たちで築き上げる」という意識のより一層の浸透を目指し運営に取り組んできました。

具体的には、手探り状態で進めてきた第1年度の経緯を活かし、様々な立場の地区住民が「まち協」に結集して事業に取り組むという運営実践方式をさらに取り入れるとともに、ムリ・ムダをできるだけ排した運営方法の改善を図ってきました。

その結果、まち協結集事業面については、一之宮町文化祭など実行委員会形式で行ったいくつかの事業で「まち協効果」につながる成果をみえました。運営方法の改善では、会議の在り方や事務手続きで簡素化を図ることができました。

全般的には27年度の事業について概ね計画の8割は実施できたものの、内容については企画内容・実施態勢・参加者等課題は多く、中でも中期ビジョンの策定や若年層を中心とした次代を担う人材の発掘・育成という重要な事業については未着手となり、次年度へ先送りとなりました。

以下、部門ごとに平成27年度の具体的事業について報告します。

■本部

まち協全般にわたる事業運営の統括・調整機能を持つ本部では、本部役員会や総括会議を開いて主要案件について協議・決定しました。同時に本部としての事業を行い、そのうち実行委員会形式では、新たに飛騨一之宮納涼夏祭り、一之宮町文化祭を開催しました。特に一之宮文化祭では町内各種団体からの40人で実行委員会を構成し、新たに収獲祭を含めた内容で企画・実施しましたが、宮中学校が授業として参加するなど、公民館周辺は子どもから高齢者までかつてないほどの賑わいをみせ、新しい住民参加の形として注目されました。

町内要望については「まち協」が取りまとめる形となり、27年度から情報提供という形で市等行政に情報をつなげ、改修等が進みました。



文化祭で闘鶏案を披露する中学生

また「まち協」をテーマにした「市民と市長の対話集会」を開催して市長へ意見を直接表明したほか、広報活動では毎月1日発行の「まち協だより」とホームページにより情報発信に努めてきました。

一方、今後のまち協の方向性を左右する「まちづくり計画」等の策定ができなかったなど計画未達に終わったものや実施事業についても課題が多くみられました。

なお、27年度は、独立行政法人青少年教育振興機構の行う補助事業「体験の風をおこそう」に応募し、まち協が運営母体となった「神通川源流文化と自然体験プロジェクト」を実行委員会形式で実施しました。

毎月	2	1	12	11	9	8	7	6	5	4	月日	内 容
1	16	23	2	1~3	11	14	3	15	29	25	21	
「まち協」だより発行	市民と市長の対話集会	城陽市（京都）視察受入	新成人を祝うつどい	一之宮町文化祭	一之宮町敬老会	飛騨一之宮納涼夏祭り	町内情報現地確認検討会	まち協ホームページ開設	第2回理事会	平成27年度定期総会		

子ども達が、地域に伝わる伝統芸能、自然環境の素晴らしさを知り、自分の故郷に夢と誇りを持つようにと、伝承文化・自然体験プロジェクトを展開しました。



「体験の風」事業の「一之宮の森で遊ぼう」の一場面

町内会長会

町内住民との相互の情報収集・伝達機能を果たすため毎月定期的な町内会長会（うち4回は町内会長・班長会）を開催してきました。具体的には、市等行政や高山市町内会連絡協議会からの情報や依頼事項、まち協からの情報や依頼事項を住民に伝えたほか、町内代表者としてまち協事業に積極的に参加してきました。

防災防犯委員会では防災講演会を開催したほか、停電時の対応として貸出用発電機を購入しました。

毎月	月日	内 容
8	21	町内会長会（うち4回は班長会も同時開催）
		防災講演会

産業振興部

連携組織が開催する行事や保存

事業等に対して助成金を取りまとめ、交付する活動を通じて、地域の各種団体が行う活性化事業に支援を行い、地域の産業振興に貢献してきました。

健康福祉部

福祉委員会が中心となって実施した「みや交流サロン」は、飛騨位山文化交流館を利用して高齢者の語らいの場を設けようという試みで、今後の福祉事業を展開するうえできっかけづくりともなる新



文化交流館ロビーを利用して始まった「みや交流サロン」

事業となりました。

女性委員会では昨年に続き6町内会ごとの身近な単位での自主企画・運営事業を行い、人集めと役

12	11	10	8	7	6	月日	内 容
27	13	24	23	1	7		
お鏡餅づくり		認知症講演会		乗鞍山ろくウオーキング			
		福祉スポーツフェスティバル		「みや交流サロン」 オープン（10月まで）			
				一之宮町体育大会			

の人材難が課題の中、女性らしい発想での積極的な取り組みが評価されました。

社会教育部

社会教育部では文化教養委員会が町内参加者を募集した文化研修会を初めて開催し、名古屋ポストン美術館などを巡りました。また、過去4回行ってきた「わが町の文化遺産巡り」は昨年度初めて町外に出かけて開催しましたが、「わが町」では一巡した感があり、今後内容の見直しが求められるとこ

ろです。一方、公民館登録文化クラブ員の高齢化で活動が低迷傾向にあることが懸念され、元気な地域づくりを進めるうえで文化活動は重要であり、今後活性化への取り組みが求められます。

青少年育成委員会では、サタデイサークルで長年続いていた大正琴が昨年度中止されるなど科目の見直しと参加者の減少が課題となり、根本的な運営方法の見直し



サタデイサークルの新科目「ふるさとのお菓子づくり」の一場面

迫られています。見守り活動では、昨年度見守りボランティア対象にした夏のベスト、冬の防寒着が貸与されました。今後ともボランティアへの活動環境について考慮していきたいと思



教養講座「昭和歌謡教室」一場面

1		11		10		9		7		6					月日
7	30	26	17	11	29	18	8	25	21	16	13	11			
教養講座	教養講座	教養講座	教養講座	わが町の文化遺産巡り	教養講座	教養講座	教養講座	子ども見守り隊意見交換会	文化研修旅行（名古屋）	教養講座	サタデイサークル開講式	教養講座	内 容		
スキー教室	昭和歌謡（全4回）	チェアエクササイズ（全3回）	ハッピータイムin宮保育園		鍋用保温カバー作り教室（全2回）	ワイン講座	グラスアート（全2回）			ダンホン（全2回）		チェアエクササイズ（全4回）			

収入の部

平成27年度一之宮町まちづくり協議会収支決算書

単位：円

区 分	予 算 額	内 訳
市補助金	10,200,000	協働のまちづくり支援金
会費	1,790,350	587戸×3,050円
負担金	922,000	敬老会等負担金
委託料	101,000	成人式委託料
繰越金	2,410,256	27年度繰越金
雑収入	49,575	利息等
合 計	15,473,181	

支出の部

事業・科目	決 算 額		備 考
		支援金	
運営費	6,368,129	4,856,738	
組織運営費	4,973,529	4,462,138	人件費・旅費・需用費・役務費等
財政調整基金	1,000,000	0	積立金
外灯料補助	394,600	394,600	外灯料
事業費	7,588,258	5,343,262	
本 部	2,917,776	1,916,565	
応援事業	594,000	594,000	要綱に基づき町内団体に助成
敬老会	502,751	92,091	消耗品・通信費・バス借り上げ料等
成人式	141,020	0	記念品・消耗品費・通信費等
夏祭り	1,096,135	646,604	謝礼・景品・消耗品・設備委託等
広報委員会	583,870	583,870	
広報誌	357,070	357,070	消耗品・配布手数料・印刷機使用料等
ホームページ	226,800	226,800	ホームページ作成委託
町内会長会	968,725	735,804	人件費・需用費・補助金等
防災防犯委員会	704,775	703,754	
資機材整備	573,754	573,754	投光器・発電機購入・消耗品費等
講演会	11,021	10,000	講師謝礼
青パト助成	120,000	120,000	
産業振興部	1,350,000	1,350,000	
生きびな助成	300,000	300,000	
スキー大会助成	300,000	300,000	
ローラスキー助成	500,000	500,000	
桜守る会助成	100,000	100,000	
パイカモ助成	30,000	30,000	
宮笠愛好会助成	120,000	120,000	

事業・科目	決 算 額		備 考
		支援金	
健康福祉部	663,960	360,110	
健康福祉部	80,574	40,974	
スポーツフェスティバル	80,574	40,974	賞品代・食糧費・チラシ配布手数料等
体育委員会	221,058	164,058	
体育大会（夏）	109,058	64,058	賞品代・消耗品費等
体育大会（冬）	112,000	100,000	賞品代・消耗品費・運営委託料
女性委員会	308,743	110,417	
交流会	107,150	0	食糧費
ボランティア	21,000	21,000	食糧費
町内研修助成	79,417	79,417	材料代等
トレッキング	101,176	10,000	謝礼・バス代等
福祉委員会	53,585	44,661	
保育園交流	5,000	5,000	食糧費
たまり場交流	35,199	35,199	消耗品・食糧費・チラシ配布手数料・ワゴン
お鏡餅作り	8,924	0	消耗品・食糧費等
認知症講演会	4,462	4,462	食糧費・チラシ配布手数料
社会教育部	1,687,797	980,783	
文教委員会	878,763	530,958	382,000
助成金	89,219	3,444	事務用品・食糧費・クラブ活動助成等
文化遺産巡り	50,751	35,955	消耗品・食糧費・チラシ配布手数料等
文化祭	499,007	332,674	謝礼・消耗品・机、いす借り上げ料等
生涯学習講座	193,097	158,885	講師謝礼・消耗品費等
文化研修会	46,689	0	バス借上げ料
青少年育成委員会	809,034	449,825	
サタディサークル	245,306	114,479	講師謝礼・消耗品費等
見守り活動	258,146	202,446	謝礼品・消耗品費・食糧費等
岩瀬交流	110,000	110,000	宮小5年生と岩瀬小との交流助成
子ども会事業	60,000	0	
伝統芸能継承	55,901	0	講師謝礼等
子どもふれあい	79,681	22,900	出演者お礼・消耗品・食糧
総合計	13,956,387	10,200,000	

(収入の部) (支出の部)

15,473,181円－13,956,387円＝1,516,794円を次期に繰り越します。

また、財政調整基金に1,000,000円積立します。

平成28年度まち協の事業計画について

まち協発足3年目となる平成28年度は、過去2年の運営経験を活かし、課題の改善を図りつつより効果的な事業運営に取り組みます。その一つが機構改革です。昨年度までの部会制を廃止し、本部からの直列、各部並列型の部体制としてスリム化し、各部の役割の明確化と効率的な運営により、効果の見える事業を目指します。また昨年度の取り残し事業であった中期ビジョンとなる「まちづくり計画」の策定、リーダー養成を目指す「まち協アクティブプロジェクト」に取り組み、中期（約5年）の視点での事業展開を図ります。

■本部

27年度多くの町民参加でかつてない盛り上がりをもせた一之宮町文化祭の経験を活かし、他の事業でも各層の住民がまち協に結集するための方策を探り反映させます。そのため、各部の意欲を高めるため、事業実施にあたり事業発進会を開催して全役員の意識の共有化・高揚を図ります。

通常時においても町内会長会代表・各部長からなる総括会議を定期開催し、部署間の連携を図り情報を共有し事業に反映させます。

■町内会長会

定期的に開催される町内会長会では従来の伝達・依頼事項に加えて、まち協への提案事項について随時協議し、まち協運営に反映

させます。

■広報部

町内全戸に配られる「まち協だより」についてさらに住民が楽しく読める読み物として、記事の収集・編集に取り組みます。ホームページについては「まち協だより」に掲載できない情報や速報的な情報について随時更新し発信します。

■防災防犯部

防犯講演会を開催して安全・安心なまちづくりを目指した意識を高めます。また、昨年に引き続き災害時等の停電対応として発電機と投光器を貸出用に購入します。

■産業振興部

新たに飛騨位山トレイルラン大会を対象事業に加え、全国に発信できる新しい形の一之宮の事業を側面支援していきます。

■福祉部

昨年度から実施した「みや交流サロン」をさらに多くの人が気軽に立ち寄れる空間として資材の充実を図って整備し、一之宮の“たまり場”を目指し高齢者の元気を支えます。

■体育部

恒例の体育行事を通じて、スポー

ッを通じた町民交流と健康を促進します。

■女性部

女性部では、女性の元気が地域の元気に結びつくよう、役となった各地区理事等との相互交流を通じて楽しく事業運営していきます。そのうち町内自主事業については各町内単位で役員の工夫により活動を進めます。

■文化教養部

新規事業の「ふるさと写真館」では、一之宮に残したい自然・行事等について多くの住民に関心を示してもらい、ふるさとへの愛着

を持つてほしいと企画実施します。同じく、「昭和歌謡の集い」では、歌の上手下手に関係なく、歌を愛する人たちの自らの歌声で懐かしの昭和を振り返ってもらいます。

■青少年育成部

サタデイサークルについては運営方式を含めて内容を見直し、講師の負担がからないよう事業を進めます。また、昨年度の「神通川源流文化と自然体験プロジェクト」の“まち協版”として「体験の風」事業を実施し、引き続き子ども達に一之宮の自然や伝承文化について体験を通じて学ぶ機会をつくります。

平成28年度各部事業計画

部門	時 期	事 業 名	内 容
本 部	5～9月	まちづくり計画策定事業	中期目標を策定して、総合的な視点に立ったまちづくりを目指す
	年 間	まち協アクティブプロジェクト	若年層のまち協への参画と若年層への波及効果、将来リーダー養成
	年 間	まちづくり応援事業	町内各種組織に対しての補助事業
	8月14日	飛騨一之宮納涼夏祭り	一之宮支所を会場にした夏祭り
	9月9日	一之宮町敬老会	町内75歳以上の高齢者対象に開催
	11月1～3日	一之宮町文化祭	住民参加による芸能発表・収穫祭・作品展示（中学生参画予定）
	1月2日	新成人を祝うつどい	町内出身新成人を祝う
町内会長会	年 間	町内会長会 町内会長・班長会	毎月定期的に開催し情報伝達する（町内会長・班長会は年4回）
	4・8月	町内一斉環境整備	町内一斉で清掃等環境整備
広 報	年間	「まち協だより」発行	毎月1日に町内情報紙の発行
	年間	まち協HP発信	まち協情報を随時発信
防 災	5月	防災機材購入	発電機と投光器3セット購入
	8月	防犯講演会	講演会で防犯意識の啓発を図る
産振	年間	事業助成	関連7組織への事業助成
福祉部	5～10月	みや交流サロン	文化交流館ロビーを利用した高齢者を中心とした語らいの場の提供
	10月	福祉講演会と座談会	講演会と悩みについての話し合い
	12月	地域交流餅つき大会	年末行事を通じた異世代交流
体 育	8月	町内対抗体育大会	町内対抗形式の球技大会
	8～9月	班対抗ソフトB大会	班対抗形式でのソフトボール大会
	3月	町民スキー大会	モンデウススキー場での大会
女 性	7月	ヨガ教室	健康活動の一環として開催
	6～11月	各町内会研修	町内ごとの自主活動
文 化 教 養	年間	ふるさと写真館	地元に残したい自然・行事・文化遺産等の写真を公募で募集・展示
	年間	生涯学習講座	グラスアート、ワイン、昭和歌謡チェアエクササイズ、詩吟、野菜ソムリエ、スキーの7講座予定
	6月	文化研修会	美術館へ出かけ芸術文化に触れる
	10月	昭和歌謡の集い	懐かしの昭和歌謡をプロミュージシャンをバックにみんなで歌う
	10月	わが町文化遺産巡り	文化遺産を徒歩で巡って鑑賞する
青少年育成	5～3月	サタデイサークル	第2土曜日を使った体験活動
	年間	体験の風	一之宮の自然や伝承文化体験
	年間	青少年見守り活動	ボランティア等による子ども見守り活動

※ 主なものを掲載。時期は確定ではありません。

収入の部

平成28年度一之宮町まちづくり協議会収支予算

予 算 額
自 支 援 単位：円

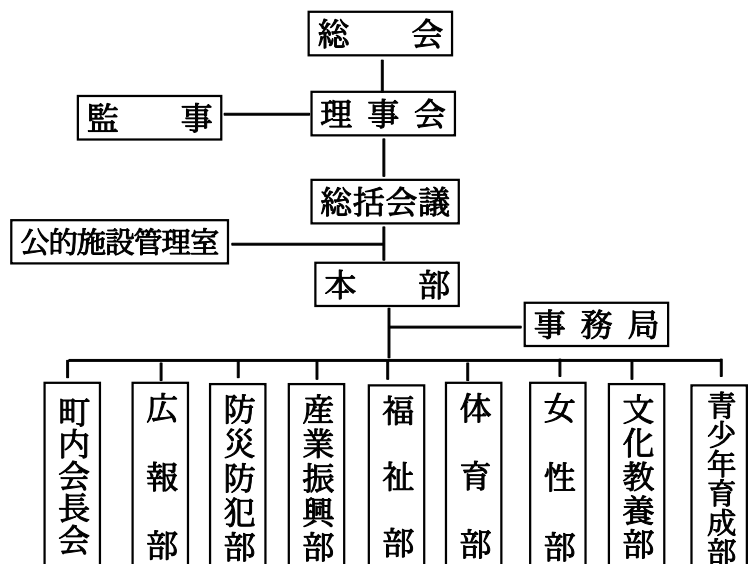
区 分	予 算 額	内 訳
市補助金	10,200,000	協働のまちづくり支援金
会費	1,738,500	570戸×3,050円
負担金	1,131,000	敬老会等負担金
委託料	100,000	成人式委託料
繰越金	1,516,794	27年度繰越金
合 計	14,686,294	

支出の部

事業・科目	予 算 額		
		自主財源	支援金
運営費	4,384,000	232,000	4,152,00
組織運営費	4,384,000	232,000	4,152,00
人件費	3,818,000	0	3,818,00
旅費	50,000	0	50,000
需用費	272,000	108,000	164,000
役務費	120,000	0	120,000
負担金・補助金	44,000	44,000	0
交際費	80,000	80,000	0
事業費	10,302,294	4,254,294	6,048,00
本部	4,130,000	2,413,000	1,717,00
応援事業	600,000	300,000	300,000
事業発進会	240,000	240,000	0
計画策定	120,000	0	120,000
アクティブプロジェクト	100,000	100,000	0
文化祭	575,000	460,000	115,000
敬老会	555,000	400,000	155,000
成人式	145,000	100,000	45,000
夏祭り	1,185,000	760,000	425,000
女川交流事業	10,000	0	10,000
備品購入費	200,000	53,000	147,000
外灯料	400,000	0	400,000
広報部	556,000	15,000	541,000
まち協だより	436,000	15,000	421,000
ホームページ	120,000	0	120,000
町内会長会	329,000	264,000	65,000
防災防犯部	627,000	0	627,000
資機材整備	441,000	0	441,000
講演会	36,000	0	36,000
助成金	150,000	0	150,000
産業振興部	1,510,000	350,000	1,160,000
生きびな助成	300,000	300,000	0
スキー大会助成	300,000	0	300,000
ローラスキー助成	450,000	0	450,000
桜守る会助成	100,000	0	100,000
トレイルラン	150,000	50,000	100,000
バイクモ助成	110,000	0	110,000
宮笠愛好会助成	100,000	0	100,000

体育部		350,000	70,000	280,000
	体育大会(夏)	150,000	0	150,000
	ソフトボール大会	50,000	40,000	10,000
	体育大会(冬)	150,000	30,000	120,000
女性部		223,000	60,000	163,000
	反省会	60,000	60,000	0
	ボランティア	36,000	0	36,000
	町内研修助成	90,000	0	90,000
	ヨガ教室	27,000	0	27,000
福祉部		365,000	230,000	135,000
	会議	30,000	30,000	0
	保育園交流	5,000	0	5,000
	交流サロン	250,000	200,000	50,000
	お鏡餅作り	20,000	0	20,000
文化教養部		967,000	387,000	580,000
	ふるさと写真館	30,000	0	30,000
	助成金	65,000	57,000	8,000
	文化遺産巡り	50,000	0	50,000
	昭和歌謡の集い	310,000	130,000	180,000
青少年育成部		885,000	105,000	780,000
	サタディサークル	175,000	30,000	145,000
	青少年見守り	170,000	50,000	120,000
	体験の風	370,000	25,000	345,000
	補助金	170,000	0	170,000
予備費		360,294	360,294	0
総合計		14,686,294	4,486,294	10,200,000

一之宮町まちづくり協議会機構図



平成28年度 一之宮町まちづくり協議会 役員名簿

事業部会	役 職	氏 名	地 区
本 部	会 長	田邊 重敏	日影
	副会長	岩畑 正義	奥
	副会長	三宅 良一	山天下
	会 計	内記 英子	寺
	監 事	谷口 誉憲	奥
	監 事	畑中 道子	本通上
広 報 部	部 長	山腰 進	山上下
	副部長	野添 一幸	野上
	会 計	牛丸 朋子	野添
		野口 洋子	山天下
		中畑 仁志	山上下
		中島 照雅	山上下
町内会長会		伊藤 健生	寺元
	代 表	日比野 法夫	洞上
	副代表	富田 亨	南
	副代表	小瀬 増男	一之宮下
	会 計	安藤 順一	野添
	理 事	黒木 正人	段
防 災 防 犯 部	理 事	御母衣 武蔵	山下中
	理 事	川原 則夫	問坂下
	部 長	黒木 甚右エ門	段
	副部長	黒木 長栄	段
	会 計	御母衣 勝義	本通中
		黒木 義弘	段
産 業 振 興 部		堤 孝幸	日影
		山本 功	山下中
		三木 亨	本通下
		日比野 真澄	洞上
		大江 昌登	宮川
		新田 善勝	本通下
体 育 部		向 良廣	洞下
		黒洞 和喜夫	本通中
	部 長	内木 良文	宮川
	副部長	杉山 信彦	一之宮上
	会 計	田玉 昌明	寺元
		岩西 圭介	宮川
福 祉 部		谷口 誉憲	奥
		森本 文夫	本通上
		内木 建治	寺元
		早川 克也	一之宮下
		問坂 義一	問坂上
		中島 照雅	山上下
福 祉 部	部 長	東田 昌巳	洞下
	副部長	水口 誠	野添
	会 計	谷口 梨詠	奥
		清水 新一	寺元
		南 喜代一	南
		中畑 仁志	山上下
福 祉 部		井口 真人	本通下
		青木 誠	問坂上
		大江 淳之介	一之宮上
		大森 良仁	寺元
		城下 リカ	一之宮下
	部 長	香賀 敬一	日影
福 祉 部	副部長	青木 誠	問坂下
	会 計	御母衣 忠嗣	山下中
		黒木 正人	段
		南 明伸	南
		鈴木 文彦	本通上
		大江 三千夫	一之宮下
福 祉 部		井口 哲一	奥
		水野 光良	渡瀬
		三貫納 浩子	-

事業部会	役 職	氏 名	地 区
女 性 部	部 長	富田 奈緒子	南
	副部長	小野 和栄	問坂下
	会 計	坂下 由佳	宮川
	理 事	山下 和美	山天下
	理 事	中村 秀子	奥
	理 事	都竹 二三代	日影
文 化 教 養 部	理 事	洞口 未智子	洞上
	理 事	山腰 幸美	宮下
	理 事	山岸 りか	本通下
	部 長	町川 克己	山天下
	副部長	青山 英彦	洞下
	副部長	井口 啓子	奥
青 少 年 育 成 部	副部長	黒木 美穂	段
	会 計	下本 はつ子	山上下
		野添 幸夫	野上
		田中 幸夫	野上
		坂本 明美	宮川
		早川 千枝子	一之宮下
公 的 施 設 管 理 室		岩西 久栄	宮川
		伊藤 健生	寺元
		三木 孝一	山天下
		水口 桂子	野添
		内記 慎吾	本通中
		坂本 小百合	渡瀬
事 務 局		野中 香織	山上下
	部 長	大江 淳之介	一之宮上
	副部長	江田 まゆみ	本通上
	会 計	大幡 千奈美	日影
		山下 森一朗	寺
		黒木 紫	段
市 役 所 担 当 職 員		牧野 淳二	日影
		溝端 利奈	南
		三木 真澄	山下中
		阿部 花子	山天下
		山下 英治	本通下
		村上 純子	本通下
市 役 所 担 当 職 員		石垣 高広	問坂上
		役田 智香恵	問坂上
		城下 リカ	一之宮下
		幅上 和美	一之宮下
		野中 浄男	本通上
		村上 稔	野添
市 役 所 担 当 職 員		白野 智士	問坂下
		芝野 昭彦	本通上
		川上 さなえ	野上
		中島 和弘	一之宮下
	室 長	向 良廣	洞下
	次 長	岩畑 正義	奥
市 役 所 担 当 職 員	庶 務	田中 幸夫	野上
	会 計	山腰 まみ子	山上下
	監 事	香賀 敬一	日影
	監 事	清水 瞳	山下中
	常任委員	井口 啓子	奥
	常任委員	大江 淳之介	一之宮上
市 役 所 担 当 職 員	常任委員	野添 幸夫	野上
	事務長	伴場 敏彦	-
	事務員	田村 富美江	洞上
	一之宮支所長	武川 尚	-
	一之宮支所課長	深澤 みち代	本通下
	一之宮支所係長	大江 淳之介	一之宮上
市 役 所 担 当 職 員	本庁課長	東田 治	洞下
	市民活動推進課	井本 裕美	-